

みなみあいづ 議会だより

平成24年11月14日発行

第26号



9月定例会

特集	平成23年度決算を認定	2
議案審議	オリンピック・パラリンピック東京招致に賛同	7
一般質問	11議員が町政を問う	8
臨時議会	除雪ドーザを購入	19
議会報告会	2会場で開催	20
裏表紙	皆さんの声をお聞かせください	22

「さあ、スタートだ！」
ふるさと健康マラソン大会（ゴーマン杯）

ホームページ <http://town.minamiaizu.org/gikai/>

平成23年度決算を全会一致で認定 みんなのまちの決算状況



DATA		0.226 (H21 ~ H23 の3か年平均)
財政力指数	10.6 ("
実質公債費比率	47.4	"
将来負担比率		

決算審査意見書

木下光廣 代表監査委員 / 渡部勝善 監査委員 / 楠正次 監査委員

審査結果

予算の執行および財政運営状況はおおむね適正なものと認められます。

平成23年度の財政指数は、健全財政に向け改善のあとがみられますが、今後も普通交付税等一般財源の減少や人口の減少により、財政の見通しはますます厳しく行財政改革のさらなる推進が必要です。

改善を望むこと

町税等未納対策

町税等の未納が依然として発生しています。滞納者の収入状況等を含めた現状を十分に把握し、実情に沿ったきめ細かな対応が必要です。支払い能力の範囲内と認められながら、義務を果たさない滞納者に対して、公平・公正を期すため、断固とした態度で望むべきです。

公債費

一般会計・特別会計ともに地方債現在高は減少しました。実質公債費比率（単年度）は、平成22年度9.8%、平成23年度9.2%と前年度と比較した場合0.6ポイント減少しており、改善のあとがみられます。

今後もコスト削減に努力し、地方債残高および実質公債費比率の減少に向けて努力することを望みます。

地方債現在高状況

会計名	平成22年度	平成23年度	差引
一般会計	156億4,692万円	155億5,532万円	△ 9,160万円
特別会計	74億4,156万円	72億2,784万円	△ 2億1,372万円

(抜粋・要約)

平成23年度会計別決算

会計名	歳入	歳出	差引	
一般会計	141億3,098万円	135億8,575万円	5億4,523万円	
特別会計	国民健康保険	22億3,803万円	20億9,263万円	1億4,540万円
	後期高齢者医療	2億1,239万円	2億894万円	345万円
	介護保険	16億3,828万円	16億3,209万円	619万円
	農林業集落排水事業	1億5,980万円	1億5,471万円	509万円
	公共下水道事業	3億8,406万円	3億8,235万円	171万円
	簡易水道事業	6億4,987万円	6億4,360万円	627万円
総計	194億1,341万円	187億7万円	7億1,334万円	
水道事業会計	収益的収支	1億5,188万円	1億3,803万円	1,385万円
	資本的収支	1,800万円	9,466万円	△ 7,666万円

※1 水道事業会計の不足分は会計内留保資金などで補てん

※2 端数処理の関係で合計値が合わない部分があります

町の家計簿

町の決算状況を家計簿に置き換えました。

平成 23 年度一般会計決算
歳入・歳出
141 億 3,098 万円

置き換え 1
1000

平成 23 年度家計簿
収入・支出
1,413 万円

収 入		支 出	
給 料 【町税】	150 万円 150 万円 (±0 万円)	食 費 【人件費】	221 万円 (△ 7 万円) 228 万円
パート収入 【負担金・使用料・ 手数料など】	20 万円 20 万円 (±0 万円)	光熱水費・日用品の購入 【物件費・補助費等】	322 万円 (△ 5 万円) 327 万円
親からの仕送り 【国・県からの 補助金・交付金など】	984 万円 (10 万円) 974 万円	医療費など 【扶助費】	80 万円 (4 万円) 76 万円
ローンの借り入れ 【町債】	153 万円 (19 万円) 134 万円	車の修理費など 【維持補修費】	53 万円 (11 万円) 42 万円
農業収入・貯金引出 【寄付金・繰入金・ 繰越金・諸収入】	102 万円 (31 万円) 71 万円	子どもへの仕送り 【他の会計への繰出金】	113 万円 (△ 8 万円) 121 万円
不動産収入 【財産収入】	4 万円 (±0 万円) 4 万円	貯 金 【積立金・形式収支額】	152 万円 (△ 3 万円) 155 万円
1 年間の収入合計	1,413 万円 (60 万円) 1,353 万円	生命保険料など 【投資・出資金・貸付金】	7 万円 (△ 1 万円) 8 万円
貯金の残高は	567 万円 (87 万円) 480 万円	家の改築費など 【投資的経費】	281 万円 (77 万円) 204 万円
		ローンの返済 【公債費】	184 万円 (△ 8 万円) 192 万円
		1 年間の支出合計	1,413 万円 (60 万円) 1,353 万円
		ローンの返済残高は	2,278 万円 (△ 31 万円) 2,309 万円

※ 1 各項目の下段は平成 22 年度の家計簿で、() 内が対比額です。

※ 2 形式収支額 54 万円 (収入と支出の差引残額) は、支出の「貯金」に加算しました。

※ 3 貯金の残高およびローンの返済残高には、特別会計も含まれています。

家計簿からみえる町の財政状況

平成 23 年度の収入と支出の総額は、前年度と比べて 4.4% 増加しました。

家計の要といえる収入は、東日本大震災から復興するため親からの仕送り (国・県からの交付税・補助金など) がいつもより多かったことと、家を改築 (学校耐震化・田島地域給食センター建設等) するため貯金引出 (繰越金) をしたことが収入の増加につながりました。

支出は家の改築があり出費がかさみましたが、食費 (人件費) や光熱水費 (物件費) を節約し出費を抑えました。

まだまだ親からの仕送りがないと家計は成り立ちませんが、それでも堅実なやりくり (財政運営) がされて、少しずつ状況は改善しています。

今後も生活費 (経常経費) を節約し、将来安定した生活ができるよう努力していかなければなりません。

税くん・滞子さんのQ & A

私なんか、町民の義務として税金だけは、何としても納めなければと家計をやりくりし頑張っているわ。滞納額がどうしてもこんなに増えるのかしら。



滞子さん 町の税金にはどんなものがあるの？

税くん 一般会計では町民税（個人・法人）、固定資産税、軽自動車税、たばこ税、入湯税が主な町の税金だよ。他に特別会計で国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料などがあるよ。

滞子さん 最近、滞納が多くなっているって聞いたけど合併した時（18年度）と比べるとどうなっているの？

税くん 18年度は一般会計で約1億1,000万円の滞納だったけど、23年度は1億7,400万円に増えているよ。

滞子さん ずいぶん増えているのね。毎年約1,000万円増えている勘定だけど、増えるワースト1はどの税目なの？

税くん 金額では固定資産税がトップで約4,600万円増だけど、割合では個人町民税がトップで約4倍の2,200万円と大きな伸び率だよ。

滞子さん 滞納はどうして増えるの？

税くん 固定資産税の滞納が全体の約85%を占めていて、固定資産税は土地や建物の価値に対して賦課するんだけど、たとえば事業に失敗して収入がなくなったり、居所が不明の人や自己破産した人が、それ以前に所有していた土地や建物があれば課税され続けるために増え続け、累積の滞納金額が増加してしまうんだよ。

滞子さん 納めるべき人や会社がなくても固定資産税は毎年課税され続けるから増えてしまうのね。税くんありがとう、よくわかったわ。

税くん 特別会計の滞納や保育料・住宅使用料・水道料などの滞納も知りたいよね。

滞子さん 今度一緒に「料くん」に聞いてみよう。

本当だね。土地や建物に課税され続けるため、滞納額が増える仕組みになっているんだって。町税を納めることは、町民としての義務だよな。



※ 10万円以下四捨五入

※ 「料くん」＝使用料

東日本大震災南会津町風評被害対策事業 1,200 万円



東日本大震災南会津町風評被害対策委員会へ補助金を交付し、町の安全・安心のPRや風評被害払拭のための事業を展開しました。さらに、観光誘客対策事業等を実施した結果、約2,900人が本町を訪れました。

総務委員会の意見・評価

風評被害対策委員会の取り組みにより、町内で生産される物産や農産物の販売が促進され、南会津町の安心がPRされています。また、誘致対策も少しずつ成果が出ています。今後、この取り組みを町と民間業者、関係機関が力を合わせ、継続すること、そして観光業の底上げをしていくことが期待されます。

林業用施設災害復旧事業 1億1,374万円



新潟・福島豪雨により林道21路線54か所が被災し、森林整備や地域住民の生活に影響を与えました。早期復旧を目指すため現年災害として20路線45か所を発注し、全箇所繰越工事として実施しました。

産業建設委員会の意見・評価

災害が発生した3日後に現地を確認し、被害の深刻さを認識しました。その後、天候にも恵まれ順調に工事が進んでいます。

田島地域学校給食センター建設事業 3億9,451万円



田島地域の中学校3校を対象とした給食センターを建設し、栄養バランスに配慮した安全で安心な質の高い給食を提供するための環境を整備しました。

文教厚生委員会の意見・評価

田島地域学校給食センターはオール電化ですが、災害時等の停電でも給食を供給できるように、バックアップ体制を万全に期してほしいと考えます。

決算審議

滞納対策は

大竹幸一議員

町税等の未納額は4億6、354万円に達しています。単年度と比較すると、平成23年度は前年度比で未納額が減少しています。どのような対策をしましたか。

税務課長

町は危機感を持って滞納対策に取り組んできました。具体的には、庁内の「滞納整理委員会」を活用し、関係各課と情報を共有し、督促・催告をしました。催告にあたっては、通知、電話、訪問、休日も含めた納税相談、法的な措置も含めてしっかりと取り組んでいます。

不納欠損の内訳は

室井嘉吉議員

町税不納欠損額の内訳は。

税務課長

不納欠損は、滞納者が死亡や生活保護などで時効が成立した場合、地方税法に基づき町が徴収をあきらめるという行為です。不納欠損額の内訳は左表のとおりです。

町税不納欠損額の内訳

不納欠損の種別	件数	不納欠損額
執行停止後3年で消滅	121	746万9,637円
即時消滅	-	-
法定納期限5年で消滅	64	77万4,730円
計	185	824万4,367円

健康診断受診率の向上を

星登志一議員

健康診断の受診率を5年間（平成20年度～24年度）で65%まで上げなければ、国からの助成金約3、000万円に対してペナルティーがあります。町を挙げての取り組みをすべきでは。

町長

健康診断は自分のために行なうものです。町は春・秋および日曜日の健診実施など受診機会の拡大に努めています。さらに、今年度は、かかりつけの医院でも受診できることにしました。引き続き受診率の向上に努めていきます。

ワークシェアリングで雇用の創出を

湯田良一議員

平成23年度の超過勤務手当支給額は、職員以外でもできる仕事があれば臨時雇用につなげては。

総務課長

超過勤務手当の支給額は約4、231万円（選挙事務分を除く）です。

行革プランの定員管理では役場職員数276人の目標に対し、平成24年4月1日の職員数は269名です。職員が減り、その分職員一人の仕事量が増え、超過勤務が増えたことになっています。今後、ワークシェアリングで雇用につながる対策を検討していきます。

水道事業債を借り換えすべきでは

湯田秀春議員

4%台の高利率の借入金を借り換えすべきでは。

総務課長

5%以上であれば償

還の際、保証金は免除されますが、5%以下の場合には元金のほかに保証金を含めての借り換えが必要のため、途中解約の場合はメリットがありません。



水質を常時監視する町職員

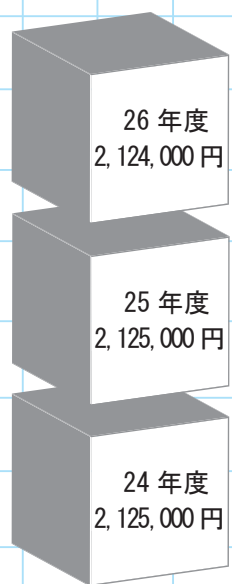
9月定例会議案審議

平成24年第3回定例会を9月21日から28日までの8日間の会期で開催しました。町からは条例の制定や改正の議案4件、平成23年度の決算認定8件、補正予算8件、報告2件、議会からは、意見書提出の議案1件、決議案1件が提出されたほか、委員会から請願・陳情の審査結果2件が報告され、審議の結果すべて全会一致で可決・認定しました。

介護保険料抑制のため基金を設置

第5期介護保険事業計画期間で第1号被保険者の介護保険料の増加を抑制するため、介護保険財政安定化基金特例交付金基金が設置されます。この基金は、県から交付される特例交付金を積み立てるもので、積立金は左表のとおりです。

積立基金(3か年)



オリンピック・パラリンピック東京招致に賛同

東京都では、2020年に開催予定の第32回オリンピック・第16回パラリンピック競技大会に向け、招致活動をしています。これを受け、本町議会では、オリンピック・パラリンピックが東京で開催されることが、東日本大震災や東

一般会計補正予算を全会一致で可決

一般会計予算を9億3,129万円追加補正する議案が町から提出され、慎重審議の結果、全会一致で可決しました。追加予算の主な使いみちは、子ども医療費無料化の対象年齢を18歳以下まで対象にするための給付金追加や依然として根強く続く風評被害を払拭するため、東日本大震災風評被害対策委員会への補助を増額するためのものです。

Jアラート試験放送で不具合は

湯田哲議員 Jアラートの全国一斉試験放送で不具合はありませんでしたが、伊南地域の一部で音量が低いところがありました。

自殺対策は

楠正次議員 町で行なっている自殺対策と周知方法は、

住民生活課長

総体的に支障はあり

健康福祉課長

町内13か所のお寺の僧侶の皆さんに依頼し、悩みごと相談を行ないました。今年度も引き続き行なうとともに、広報やHP等で周知していきます。また、精神疾患を持つている方、ご家族へのケアもケース検討会など、十分に行なっていきたいと思います。



国の緊急情報を音声で伝達するJアラート



田島ダム・旧針生発電所調査の進ちよく状況は

町長＝事業の採算性・地域波及効果を調査

問 現段階での調査状況と水力発電の実現性は。

町長 田島ダムと針生地区で

地形、流量、電力の需給調査等を実施しました。今後、施設面や手続き等の課題抽出や建設費、全体的な事業採算性、地域への波及効果など、詳細な調査を進めていきます。

問 館岩、伊南、南郷地域で水力発電の実現化に向けた調査をすべきでは。

町長 現在実施中の調査事業を完了してから、次のステップとして検討します。

問 「自然エネルギーを推進する町」として、他の自治体の見本となるよう

な自然エネルギー政策を進めるべきでは。

町長 資源的に無尽蔵といわれるもの、気象天候に

影響されるものなど、長所・短所を持つている自然資源を複合的に取り入れるため、国の動向を見極め積極的に進めます。



調査中の旧針生発電所の取水口

子どもたちの教育環境のさらなる充実に

教育長＝情報活用能力を育成

問 学校行事の中で御蔵入交流を実施しては。

教育長 図書館（御蔵入交流）を利用するため、スクールバスや町のマインクロバスで送迎し、公共施設を使う際のマナーや目的に応じた情報を選ぶ情報活用能力の育成をしています。

教育長 図書館（御蔵入交流）

公演事業や各種発表会は8回で、内容は演劇鑑賞教育、郡内小中学校の合唱祭、合奏祭、学習サポート事業全体勉強会です。そのほか、職場体験や家庭科の乳児とのふれあい教室で13回の利用です。

問 学校の授業の一環として、子どもたちの「知」を

その他の質問

・「集落カルテ」による分かりやすい事業計画・展開を



SL機関車で観光活性化を

町長＝SL運行課題山積のため困難

問

会津田島駅にあるSL機関車を会津線に走らせることは可能ですか。

町長

SL機関車の復元、整備や維持管理に膨大な費用がかかるため、現状で走らせることは困難です。

問

不可能な場合、只見線など他のSL機関車を借用して走らせることはできますか。

町長

ディーゼル車と比べ2倍もの重量があるため、橋りょうなどが耐えられるかの調査、排煙設備や転車台の新設・改修も必要です。しかし、一時的なイベント列車であれば他社のSL機関車を借用し運行することは可能かもしれません。

会津田島祇園祭の通年PRを

町長＝屋台格納庫を展示館としてPR

問

会津田島祇園祭への町の支援策は。

町長

継続のための課題や新たな支援要望を聞き、前向きに検討していきます。

問

1年を通じた会津田島祇園祭の通年作戦を考えるべきでは。

町長

現在、西屋台格納庫・上大屋台格納庫が整備され、12月には本大屋

問

8月から始まった県の「コードフォー3」のような、クイズ作戦による誘客は。

町長

子どもの心をつかむ誘客事業は、将来の観光客の増加にもつながり、南会津の宝を再発見していただく観点からも有効な手段です。会津田島祇園祭のPRなど、県や南会津町観光物産協会と連携し、継続的な取り組みを検討します。



艶やかな花嫁行列



通学路の安全確保を

教育長＝諸対策を検討・実施する

通学路危険箇所の安全対策

危険箇所	安全対策
田沢交差点	新たなゼブラゾーンの設置や停止線の移動
緑屋前交差点	教職員や見守り隊による街頭指導
その他の通学路	歩道の白線引き、注意看板の設置など



児童・生徒の通学に必要な不可欠なスクールバス

問

交通量の多い校通学路の安全点検結果を踏まえ、どのように改善をしましたか。

田島小・中学

教育長

危険箇所の改善を左表のとおり検討しています。

問

長野・田部原・田部・南下原・北下原・折橋の小・中学生の安全確保のため、1月からのスクールバス運行を1か月繰り上げ、12月からできませんか。

教育長

他路線との整合性や通学路の安全対策、さらには学校や保護者の要望などを踏まえ、総合的に検討します。

スクールバス運行を1か月早く

教育長＝学校・保護者の要望を踏まえ総合的に検討

災害復旧工事の進ちょく状況

所管	区分	災害箇所	進ちょく状況		
			工事完了箇所	工事施工中箇所	進ちょく率
町	公共土木	7	3	4	5%～60%
町	林道施設	14	2	12	5%～90%
町	農地農業用施設	8	5	3	50%～80%
町	水道施設	2	2	-	-
県	災害復旧工事	29	13	16	0%～95%
県	災害関連緊急治山事業	8	1	7	5%～95%

問

新潟・福島豪雨災害の進ちょく状況は。

町長

8月末現在の災害復旧工事進ちょく状況は左表のとおりです。

豪雨災害の工事状況は

町長＝早期復旧に全力を挙げる

町民の所得向上に向けた施策は

町長＝地域資源の活用で、雇用と所得確保を

問

町民の所得向上の短期的、中長期的施策は。

町長

短期的施策は、お金が循環するシステムと外貨の獲得、新たな販路の拡大、交流人口の拡大等に取り組んでいます。また、新たな雇用創出につながる環境を作っています。
中長期的施策は、農林業の振興と各種産業の連携や、地域資源を活用した新たな雇用創出と所得の確保につなげていきます。

子育て施策のビジョンは

町長＝若者定住施策と併せ取り組む

問

人口減少の中で、思いきつた子育て支援策が必要です。ビジョンは。

町長

「みんなので支え合う子育て環境づくり」を基に、子育て支援センター

来年度予算編成の町長の考えは

町長＝本町の現状を検証し、各種施策を確実に

問

平成25年度予算編成の基本的な考えは。

町長

基本方針は以下の5点とし、本町の現状を検証しながら、各種施策を着実に進めます。



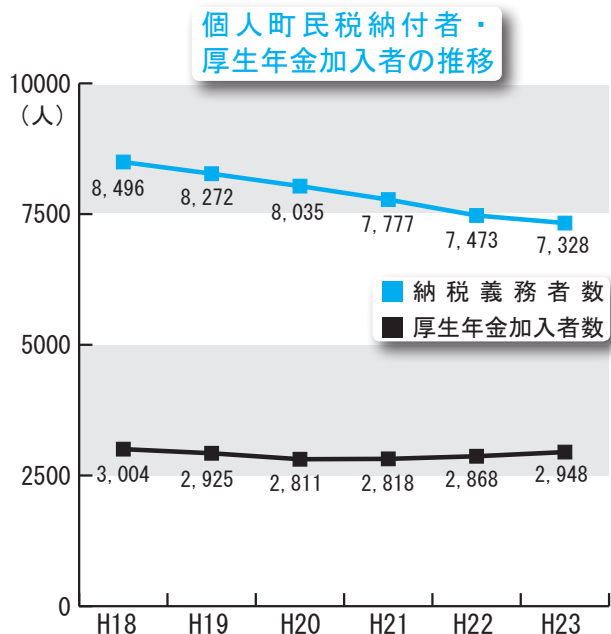
青空のもとで元気に遊ぶ子どもたち

- ① 震災復旧と災害に強いまちづくりの施策を進め、防災拠点施設機能を有する新庁舎建設の基本計画を策定します。
- ② 集落支援交付金事業を継続し、地域力の向上を図ります。
- ③ 介護環境の充実を柱とする高齢者対策と少子化対策を進めます。
- ④ 地場産業の振興、新規就農の支援、社会資本の整備による雇用の促進に取り組み、地域経済の活性化と雇用機



雇用の現状と施策方針は

町長＝既存企業への支援と企業誘致に努める



町長 各項目の変動状況等は表のとおりです。職の創出実績は、緊急雇用創出基金事業で133事業所、延べ

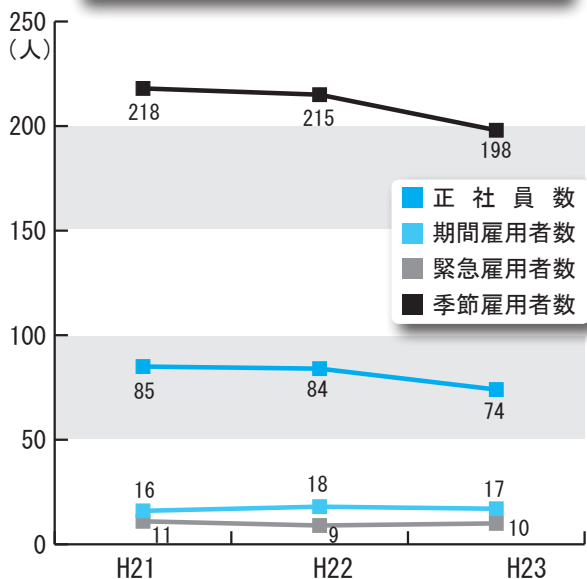
問 町村合併後の個人町民税納付者数、厚生年金加入者数、会社数、社員数、土木・建設業と社員数は、また、職の創出の3年間の実績と今後の施策方針は。

332人、「がんばる企業・創業支援事業」で27社、35人の雇用を創出しました。今後も既存企業の雇用維持・拡大の支援と企業誘致に努めます。

企業等の変動状況

項目	変動状況		
製造業 (事業所数・就業者数)	平成18年度 69事業所 1,633人	→	平成22年度 54事業所 1,168人
土木・建設業 (就業者数)	平成17年度 1,354人	→	平成22年度 1,043人
転職の割合 (町内高等学校の卒業就職者転職率)	平成22年度 10%	→	平成23年度 8%

みなみやま観光社員数（雇用形態別）



町長 答申内容は議員懇談会での報告内容（裏表紙参照）のとおりです。

問 第三セクター経営評価委員会の答申内容は、過去3年間の雇用状況、職の創出の実績と今後の施策方針は。

答申内容は、雇用状況はグラフのとおりです。今後の施策方針は第三セクター経営評価委員会の答申を参考に検討します。

第三セクターの今後は

町長＝答申を踏まえ検討



林業の施策は

町長＝林業関係団体を育成

問 森林組合合併の現状と町のかかわりは。

町長 田島、館岩、伊南の森林組合は合併推進で一致しており、下郷町、只見町の森林組合でも、それぞれ理事会が開催され、同意した組合での合併検討会が設置される予定です。

本町は県農林事務所、森林組合連合会と連携して、合併に向けての支援・指導をしていきます。

問 町指導の、協議会等の組織は。

町長 みなみあい、つ森林ネットワーク、南会津地方木材安定供給連絡会議、南会津町森林整備協議会の3つの組織があります。町は引き続き

き林業関係団体の育成、支援を行ない林業振興に努めます。

問 だいくらスキー場駐車で木材市の今後の位置づけは。

地元産材の生産流通を

町長



地場産材の販路拡大を目指す木材市（だいくらスキー場）

目的にこれまで行政主導で3度開催されていきます。今後は、森林組合や南会津地方木材安定供給連絡会議を中心とした民間主導での継続的な開催を促し、木材産業の雇用確保、経営安定化を行なっていきます。

新庁舎建設は

町長＝住民要望を反映させた建設計画を策定

問 建設計画を作る時期は。

町長 南会津町役場新庁舎建設検討委員会を設置し、11月には委員会から結果が報告されるので、年内には建設計画を策定します。

問 建設の資金計画は。

町長 平成23年度から総事業費の2分の1を目標に庁舎建設基金の積立を行っており、残りの資金は合併特例債を活用します。

その後、建設計画案をもとに意見公募や住民説明会で住民要望を取り入れ、建設計画を作ります。



空き工場を活用し六次産業による地域振興を

町長＝膨大な設備投資等、課題の克服が必要

問

南郷トマト等
生産者支援で
増産し、JAや個人企
業等との連携で法人を
立ち上げ、空き工場を
再利用した加工所を作
り、六次産業に取り組
む考えは。

町長

南郷トマト
ジュースを
地元で製造できないか
関係機関や事業者等と
協議をしています。

しかし、加工施設は
機器の購入や施設の改
修等に膨大な設備投資
が必要であり、採算性
から年間を通じた製
造・販売体制が必要で、
実現まではさまざま
課題を克服しなければ
なりません。

町では、「乾燥野菜
の実証実験」や「ミニ
トマト」、「食用ほおず
き」を使った新たな特
産品の開発等を進め、
民間事業者でも加工品
の製造等が進められて

います。
これら事業者等と連
携し、地元農産物の消
費拡大と六次産業の推
進に努めていきます。

さいたま市とのさらなる交流拡大を

町長＝友好関係をさらに深める

問

町の人口減少
が続く中、交
流人口を増やすため、
さいたま市との交流推
進策は。

町長

さいたま市
とは長年、

住民相互の交流を行
なってきました。
今年度は、尾間木中
学校の南郷中学校への
訪問、たていわ親善
ツアー・マーチやふる
さと健康マラソン大
会、七行器行列への参

加や埼玉栄高校のス
ポーツ合宿等、世代を
超えた交流で、友好関
係をさらに深めていき
ます。



多くのさいたま市民が参加したツーデーマーチ



受動喫煙に対する考えは

町長＝完全分煙・全面禁煙で被害防止

問

①受動喫煙被害防止の考えは。②喫煙者等に対する考えは。③役場本庁舎に、吸気・排煙（有害物質除去）を徹底した喫煙ルーム設置の考えは。

町長

①受動喫煙の被害責任は喫煙者ではなく、その場所を管理する事業主にあります。

町としても、完全な分煙での喫煙所の設置、敷地内全面禁煙を実施していくことが受動喫煙に対する被害防止に有効と考えます。②たばこが及ぼす健康への影響は肺がんや心臓病・脳卒中などと深くかわり、禁煙が医療費削減につながります。

しかし、リスクを承知で止められない人は、ルールを守り、周りに迷惑をかけないよう

配慮していただきます。③役場本庁舎の喫煙ルーム設置は、今後検討していきます。



分煙環境をつくる屋内喫煙ルームと屋外可動式喫煙ルーム（TERAMOTO 製）

館岩地域の歯科診療の確保を

町長＝館岩く南郷間の交通機関を検討

問

館岩地域は、歯科診療施設がないため、交通弱者や高齢者が困っています。①出張健診等の施策の考えは。②歯科、一人医師による経営維持の必要人口は。③送迎等の補助の考えは。

町長

①出張健診は難しいで

すが、医師不在を放置することは問題であり、歯科医師会とも協議していきます。②人口10万人に50人が妥当とされています。③送迎の補助は、他の通院者との均衡上、困難ですが、館岩と南郷間の交通機関の利便性確保を検討します。

その他の質問

- ・国民健康保険税賦課方式および納期について
- ・新卒者の運転免許取得費用の助成について



総合支援センターの検証を

町長＝新組織の中、今まで同様の事業を展開する

問

合併後6年が経過しようとしています。地域の要望に対する総合支援センターの役割は、大変大きなものがあります。

この6年を検証し、今後の支援センター運営の考えは。

町長

総合支援センターの運営は、田島地域は田島振興公社に、館岩地域は一般財団法人南会津町総合支援センターに委託し、伊南・南郷地域は町直営で実施しています。

業務内容は地域団体活動支援や山開き、まつり、スポーツ大会などの地域イベントや、町観光物産協会の本部・支部の団体事務と集落支援事業の委託業務、さらに施設の指定管理業務の住民サービスを行なっています。

問

集落支援員と支援センターの位置づけは。

町長

集落支援員は総合支援センター職員と一体となって集落機能の維持を目的とした集落支援を実施し、総合支援センターと財団法人田島振興公社の統合後も、新組織の中で今まで同様の事業を展開します。

除雪支援事業の今年の取り組みは

町長＝昨年と同様に取り組んでいく

問

総合支援センターの業務で地域に根ざし始めている除雪支援事業の今年の取り組みは。

町長

南会津町除雪ネットワークワーク事業として、館岩地域は南会津町総合支援センター、伊南地域は農業生産法人伊南の郷、南郷地域はNPO法人じねんと、田島地域はNPO法人御蔵入倶楽部へそれぞれ委託します。

伊南地域と南郷地域は、それぞれ支援センター内の受付窓口で、支援センターと協働で事業を実施します。



冬季間の日常生活の安全を守る除雪ネットワーク事業



鎌倉崎交差点と接続する町道の早期改良を

町長＝着工には今後4、5年かかる

問

鎌倉崎交差点の松ノ下方面の町道は、坂道で狭く事故が多く、特に冬期間は危険です。拡幅工事着工までの年数は。

町長

交差点から松ノ下方面は、会津田島駅周辺地区土地区画整理事業地内であり、バイパス道路沿線の用地を確保し、道路拡幅工事を順次実施していくため、着工には、今後4、5年程度かかる見通しです。

問

車が交差点付近で信号待ちできるよう、改良の考えは。

町長

町道がガード下にあるり、国道との接続など特殊な要因もあります。可能な限り対策をしていきます。

就学援助費の拡充と保護者負担の軽減を

教育長＝経済的に就学が困難な児童生徒への援助は検討していく

問

平成22年度より就学援助費の国の基準が改善され、クラブ活動費、生徒会費、PTA会費へ対象が拡大されましたが、平成23年度の事務報告で、この3項目の記載がありません。支給の状況は。

教育長

現在の「南会津町要保護および準要保護児童生徒就学援助費支給要綱」で支給費目となっていないため支給していません。今後、経済的に就学が困難な児童生徒への援助の拡充は検討します。

就学援助費対象項目と支給限度額

支給区分	小学校	中学校
学用品費	11,100円	21,700円
体育実技用品費	柔道	7,300円
	剣道	50,500円
	スキー	36,300円
新入学準備金	19,900円	22,900円
通学用品費	靴・雨傘 2,170円	
通学費	38,200円	77,200円
修学旅行費	20,600円	55,700円
校外活動費	宿泊なし	2,180円
	宿泊あり	5,840円
給食費	実費	
医療費	トラコーマ・中耳炎・虫歯など6病気の实費	
スポーツ振興センター掛金	掛金の1/2	
(新規) クラブ活動費	2,550円	26,500円
(新規) 生徒会費	4,350円	4,940円
(新規) PTA会費	3,040円	3,960円

問

郡内に養護学校と連携して取り組む関がいないため、障がい者とその親は大変です。郡内への開校誘致運動をすべきでは。

教育長

現在、障がい者が地域の中で自立した生活が送れるよう「南会津を考える会」と「南会津地方地域自立支援協議会」が連携し取り組んでいます。今年度は、特別支援学校誘致への意識調査の予定があり、その結果を踏まえ取り組みます。

その他の質問

・規則・要綱などの制定・改廃について



若者定住対策は

町長＝複合的な政策で人口減少に歯止めを

問 若者定住住宅で若者を呼び込む考えは。

町長 人口減少に歯止めをかけるには、住宅政策だけでなく、雇用対策、子育て支援の充実、保健・福祉・医療サービスの充実など、複合的な取り組みが必要です。

また、今後老朽化した町営住宅の建て替えも急務であり、この中でU・Iターン者やシニア世代も含め、多様なニーズに応えられるよう検討します。

問 南郷トマト栽培移住者の例を生かしては。

町長 町の重点振興作物を新規に栽培する農業者に対し、独自の支援制度を設けています。

南郷トマトだけでなく、新規農業者受け入れ体制を構築し、新たな支援策等を検討していきます。

顧問弁護士で 難題の解決を

町長 Ⅱ 来年度からの活用を検討

問 町の課題解決のため、顧問弁護士の活用は。

町長 税金や使用料の滞納対策を含め、町の抱える課題も多様化しています。顧問弁護士の活用は、これらの解決に一定の成果が期待できることから、来年度からの活用に向け、検討します。

町道横町折橋間の立体化を

町長 Ⅱ 会津縦貫南道路建設の動向を踏まえ検討

問 建設予定の特
別養護老人
ホーム付近、町道北下
原5号線踏切の立体化
は。

会津縦貫南道路との距離が近いことから、現在のままでは困難です。

町長 今後、会津縦貫南道路のルートや、アクセス道路等の計画の動向をみながら検討していきます。



自動遮断機が無く幅員の狭い踏切

その他の質問
・水道事業の経営改善について

安全で快適な雪道を 除雪ドーザ購入

町から除雪ドーザを更新する物品購入契約案2件と安越又川橋災害復旧工事契約の一部を変更した専決処分の報告があり、慎重審議の結果、全会一致で可決・承認しました。

除雪ドーザ購入契約状況

規格型式	台数	契約金額	配備先
除雪ドーザ 13 t級 マルチプラウ付	1	1,656 万円	館岩地域
除雪ドーザ 13 t級 サイドスライドアングリングプラウ付	1	1,737 万円	南郷地域

議案質疑

予定価格は適正か

渡部優議員

落札価格は予定価格の69%と落札率に大きな差があります。予定価格を決定する際、何社の見積りを参考にしていますか。

更新基準とは

湯田秀春議員

除雪ドーザの更新基準は。

建設課長

更新基準は建設機械の耐用年数を基に稼働実績が5、600時間を超えたものを更新しています。本町は除雪ドーザの保有台数が多いため、1年で1〜2台を更新しています。

更新される除雪ドーザの扱いは

大竹幸一議員

下取りはしますか。

館岩総合支所長

下取りは出さず、他の公共施設で使用できるように現在検討中です。

災害復旧工事費 116 万円減額



工事名 平成23年災安越又川橋災害復旧工事
 工事箇所 安越又川橋および周辺（伊南地域小立岩地区）
 請負金額 (変更前) 5,964 万円 → (変更後) 5,848 万円
 変更理由 近接工事発注による諸経費率調整

議案質疑

近接工事の基準は

渡部優議員

近接工事として扱う基準は。

建設課長

近接工事は、近接する複数の工事を同一業者が落札し、施工範囲が重複するなどの一定の条件を満たした場合、複数の工事を同一工事としてみなす規定があります。この規定に基づき、諸経費率を調整し減額するものです。

お詫びと訂正

議会だより第25号の掲載記事に一部誤りがありました。

○第2回臨時会（21頁）

「学校名決定までの経過は」の質問者

（訂正前）渡部優議員 ↓（訂正後）山内政議員

大変申し訳ありませんでした。お詫びして訂正させていただきます。

議会報告会

—住民と共に歩む議会であるために—

6月議会の結果を2会場で報告

東・中小屋地区

日時	7月21日(土) 午後7時00分から午後9時00分
会場	東集会所
参加者	区長ほか10名
出席議員	五十嵐 司・大桃英樹・阿久津梅夫・長谷川耕一・ 星登志一・菅家幸弘
質疑事項	① 田畑の放射線量調査の状況は。 ② 広域消防署の統廃合に関し、住民の声をどのように反映させるのか。
要望・意見	① 駒止峠旧道を観光道路や災害時の迂回路に活用できるように整備してほしい。

Q. 議会報告会を聞いてみてどうでしたか。

A. 議員の皆さんと顔を合わせて話せる機会は有意義だと思います。地区の現状を知っていただき、町政に生かしていただきたいですね。

東区長
平野勝昭 さん

本町地区

日時	7月29日(日) 午後7時00分から午後9時00分
会場	本町消防屯所
参加者	区長ほか17名
出席議員	高野精一・室井嘉吉・室井 実・渡部 優・ 湯田 哲・湯田良一
質疑事項	① 雇用と企業誘致の取り組み状況は。 ② スキー場のシーズンオフの活用は。
要望・意見	① 災害情報を町民の携帯電話に配信してほしい。

Q. 議会報告会の感想を聞かせてください。

A. 議会報告会を開催したことにより議員との距離がさらに身近に感じられました。これからの時代を担う若い世代の交流等の施策に期待します。

本町区長
星 洋一 さん

※質疑事項および要望・意見は一部のみ掲載しています。

田島地域区長会の皆さんが9月定例会を傍聴

9月27日(木)、田島地域区長会の皆さん21名が一般質問を傍聴しました。田島地域区長会では、毎年1度議会を傍聴しています。傍聴に訪れた皆さんは議論に真剣に耳を傾けました。

Q. 議会を傍聴してみてどうでしたか。

A. 田島地域区長会では、定期的に議会傍聴と議員との懇談会を行なっています。町の現状を知る良い機会だと思っています。議会には少子高齢化問題、若い人が働ける就労の場を作り、元気で働ける高齢者づくりに正面から取り組んでほしいです。

田島地域区長会
会長 渡部孝二 さん

みなみあい
議会だより

第26号 平成24年11月14日発行

20

みなみやま観光(株) 決算状況

概要

第11期決算状況は、東日本大震災に端を発した福島原発事故の影響による風評被害、加えて新潟・福島豪雨災害等の影響によって厳しい決算状況となりました。スキー場売上は前期とほぼ同額の売上高ですが、一方、宿泊売上と直販売上は、対前期比で大幅なマイナ

調査結果

第11期決算は、東京電力賠償金で黒字決算となったものの、依然、営業利益のマイナスが大きいことから、本年

スとなりました。要因として、根深い風評被害により誘客数が伸び悩みました。しかし、東京電力の賠償金1億2,440万円の営業外収益によって8,513万円の黒字決算となりました。

5月から8月まで実施された南会津町第三セクター経営評価委員会の検証による総合的な評価結果の答申を踏まえ、町とみなみやま観光(株)が一丸となって抜本的に見直し、さらなる経営管理・運営の努力を期待します。

佐藤栄学園 会津田島寮閉鎖

概要

学校法人「佐藤栄学園」は平成17年、校外施設「会津田島寮」を藤生字脳曾根地内に開設しましたが、会津田島寮を含めた7校外施設の管理運営費が学校の経営を圧迫しているとの理由から、平成25年3月末で全施設を閉鎖

します。

町では、8月に報告を受け、「会津田島寮利活用検討会」を立ち

上げ、その活用の方向性を探り、最終的に佐藤栄学園との協議により決定する方針です。

調査結果

長引く景気の低迷や少子化による私立校の経営苦が原因と推察されます。閉鎖後の利活

委員会報告

総務委員会 事務調査

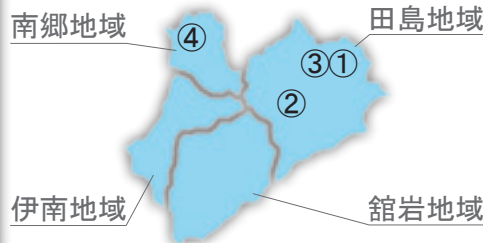
平成24年8月21日

- ①みなみやま観光(株)
- ②佐藤栄学園会津田島寮

文教厚生委員会 事務調査

平成24年6月6日

- ③県立南会津病院
- ④南郷保育所



県立南会津病院 診療体制の現況

概要

診療体制は常勤医師12名、非常勤医師16名で、内科、外科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科の5科は手術日を除いて毎日診療し、産

婦人科、眼科、皮膚科、神経内科、神経精神科、泌尿器科の6科は週1〜2日の診療です。

経営面では、平成20〜22年の3年を見ると毎年4億〜5億円の赤字ですが、透析機器の増設や人間ドックに進出するなど収益の確保と費用の削減に努め、平成23年度は赤字が3億円を切り経営改善されています。

調査結果

国の医療費削減方針で治療方針が無くなつた患者を退院させなければならぬため、いかに自宅での介護につながるかが重要な課題です。医療と介護の相互協力支援体制の整備を南会津郡全体で考えていく必要があります。

南郷保育所統合後の運営状況

概要

現在の入所児童数は58人で施設職員は16人です。施設面では、旧南郷保健福祉センターを児童福祉施設へ改修したため、ホールが吹

き抜けて入所児童の声が反響し話が聞き取りにくい状況ですが、広々として入所児童に十分配慮された施設です。「みさわ荘」が隣接しているため、世代間交流を期待します。

調査結果

保育料の滞納がなく、健全な管理・運営がされています。同施設近隣には特別養護老人ホーム「南郷ホーム」や老人福祉センター

皆さんの声をお聞かせください！

町第三セクター経営評価委員会の答申

8月24日、町第三セクター経営評価委員会は町に対し、「南会津町第三セクターの総合評価と今後の方針について」答申され、9月21日開催の議員懇談会で答申内容の説明を受けました。この答申は、平成21年度に同委員会が策定した「町第三セクター改革プラン」をもとに経営改善に努めてきた第三セクターの経営改善状況を評価したもの（※）で、同委員会では「この答申を機に、第三セクターに対する町民の関心が一層高まり、町の将来を見据えた第三セクターのあり方について認識を持っていただくことを期待する」としています。

議会では、10月29日に議員懇談会を開催し、各地域で行なわれた地域協議会や行政連絡員会議等であがった意見などの情報を交換しました。

今回の答申内容は、第三セクターの総合評価およびスキー場・温泉宿泊施設の役割と整理の方向性が示され、施設によっては廃止や売却等の答申があり、厳しい評価となりました。しかし、この内容はあくまで第三者機関の評価であり、決定ではありません。この状況を受け止めた上で、行政、議会、そして住民の皆さんが議論を深め、今後のあり方を選択していかなければなりません。町では、10月から地域協議会や行政連絡員会議等で答申内容を公表しています。

※ 平成21年度、改革プラン策定。プラン策定から現在までの3カ年の総合評価

議会広報委員会

委員長 湯田 哲

副委員長 大桃英樹

委員 湯田良一

委員 室井嘉吉

委員 楠 正次

委員 菅家幸弘

議会傍聴におこしく下さい

平成24年12月定例会

12月7日(金)から予定

議会傍聴の手続きは簡単です。
本庁3階傍聴席入り口で住所
と名前を書きだけです。
傍聴席で議案も閲覧できます。

発行 南会津町議会 : 〒967-8501 福島県南会津郡南会津町田島字後原甲 3531-1
編集 議会広報委員会 : TEL:0241-62-6310 FAX:0241-62-6102
E-mail:gikai@town.minamiaizu.lg.jp

